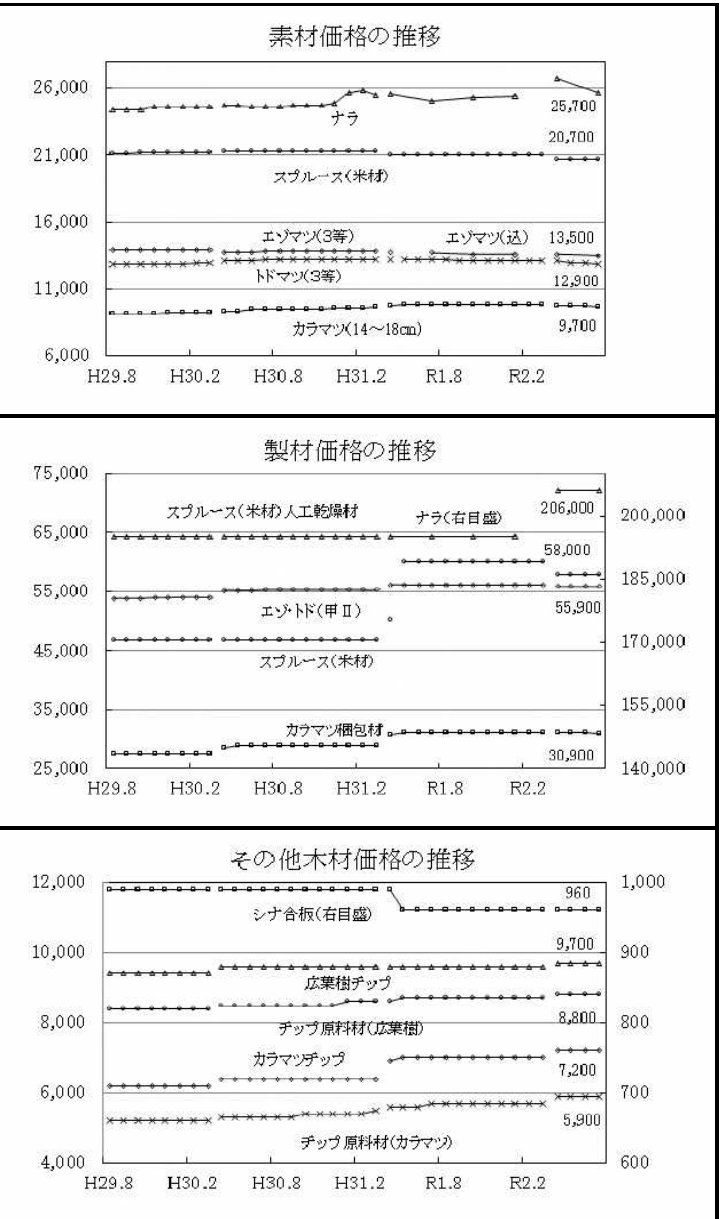


# 道内の木材市況概況(令和2年7月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	12,900	△ 100	(道産材) ・エゾ・トド原木は、製品生産量の落ち込みに伴い原木在庫は多めで、一部工場では原木の入荷制限を継続している。市況は弱保合～保合。 ・カラマツ原木は、製品生産量の落ち込みにより原木在庫は多めで、一部工場では原木の入荷制限を継続している。市況は弱保合～保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種により弱気配～保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の6月の輸入量は3千m <sup>3</sup> (前月0千m <sup>3</sup> ・前年同月11千m <sup>3</sup> )。6月末港頭在荷量は5千m <sup>3</sup> (前月比150%・前年同月比40%)。
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,700	△ 100	
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	10,800	△ 200	
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,500	△ 100	
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	25,700	△ 1,000	
	スプルー ス(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オン トラ	20,700	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,900	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、新型コロナウイルスなどの影響により、建築材、梱包材ともに低調な荷動きが続いている。市況は保合。 ・カラマツ梱包材・パレットの荷動きは、厳しい状況が続いており、ラミナの注文は引き続き少量となっている。市況は弱保合～保合。 (住宅着工戸数) ・6月の新設住宅着工戸数は前年同月比82%。 (外国産材) ・米材製材の6月の輸入量は0千m <sup>3</sup> で前月比0%、前年同月比24%。6月末港頭在荷量2千m <sup>3</sup> で前月比95%、前年同月比43%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	30,900	△ 100	
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	206,000	0	
	スプルー ス(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オン トラ	58,000	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長 182cm 2類-1等	問屋着	960	0	市況は保合。
チップ 原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工 場着	5,900	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工 場着	8,800	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工 場サイロ下	7,200	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工 場サイロ下	9,700	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。  
 注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。  
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。  
 注4 四半期項目(樹種名の前に「\*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。  
 注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないで表示する。